

クマに注意!

クマ
出
没
中
!

県内各地に

クマがあなたのすぐそばに…
人里にクマを寄せ付けない対策を

ひとさと
人里で

農地で 農地は電気柵で 囲いましょう

クマ対策には電気柵が有効です。
また、規格外で廃棄した作物も放
置せずに処分しましょう。



家の周りで 実のなる樹木は 要注意

クリやカキなど実のなる庭木は、
早期に実をもぎ取る、伐採する、ト
タンを巻く、電気柵で囲うなどの
対策を。



家の周りで 人間の生ごみは クマのエサ

コンポストやゴミもクマを引き寄
せます。クマが出没しやすい場所
では利用を控えるなどの対策を。



集落で 草刈りで 見通し良い環境を

見通しが良くなると隠れる場所が
ないので、クマが通りにくくなりま
す。環境を整備し近付きにくくな
る対策を。



クマに出会ってしまったら…

- 背を向けて走って逃げない
- 目を離さずに静かにゆっくり後ずさる
- 親子グマに注意
- 風向きに注意して撃退スプレーを使う
- クマが攻撃してきたら両腕で顔や頭をカバーし地面に伏せて防御する

クマは顔や頭を
狙ってきます



岩手県では
「ツキノワグマ被害防止対策」を
ホームページに掲載しています。

ツキノワグマ
による
人身被害状況・
出没状況(岩手県)
普段から
ツキノワグマの情報を
チェックして対策しましょう。



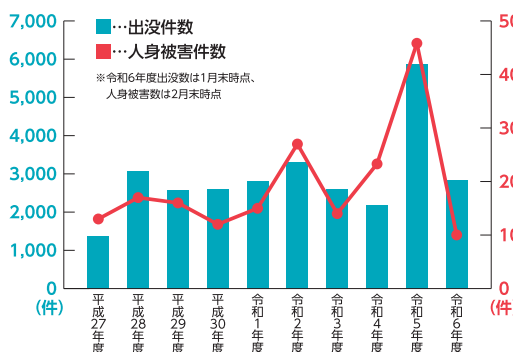
ツキノワグマの出没データ

岩手県には、ツキノワグマが県内全域に約3,700頭(令和2年度末時点)生息しています。

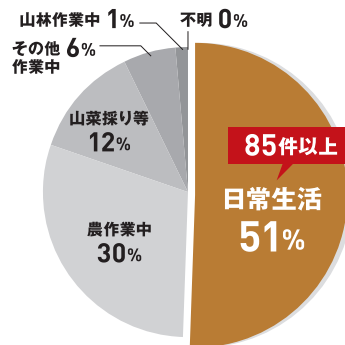
近年、中山間地域の人口減少や高齢化による耕作放棄地の増加等に伴いクマの生息域が拡大し、人身被害や農作物被害などによる人とのあつれきが増大しており、出没件数も増加傾向にあります。

また、人身被害は、クマの本来の生息地である山間部での発生が6割となっていますが、近年は人里での発生が増加傾向にあります。なお、山間部での事故は、山菜採り等(キノコ採り、釣り含む)が約6割を占め、人里では日常生活(散歩等)や農作業中の発生となっています。

クマの出没件数及び人身被害件数 [平成27年度～令和6年度]



人里での被害発生状況 [平成15年度～令和6年度]



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
出没件数(件)	1,370	3,070	2,575	2,612	2,806	3,316	2,602	2,179	5,877	2,848
人身被害件数(件)	13	17	16	12	15	27	14	23	46	10
人里での人身被害(件)	5	3	6	2	5	16	9	8	29	5

※令和6年度出没数は1月末時点、人身被害数は2月末時点

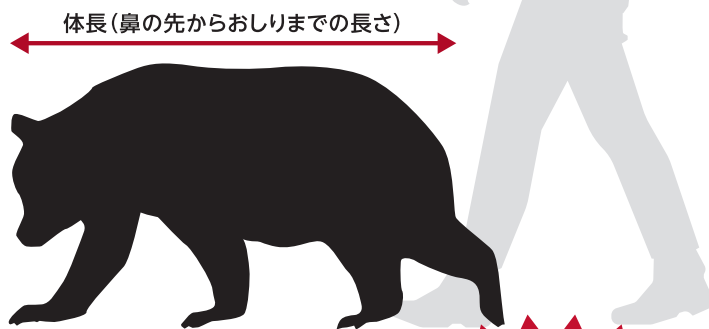
ツキノワグマの特徴

- 体長** 100～150センチメートル
- 体重** 30～100キログラム
- 臭覚** 敏感
- 聴覚** 優れている
- 視力** あまりよくない
- 性格** 子連れの母グマは、子グマを守ろうと攻撃的行動をとることが多いため注意
- 特技** 木登り、水泳、走るのも速い
- 食べ物** ドングリやクリ、山菜やタケノコ、昆虫、ヤマブドウなど
- 習性** 急に背中を見せて走って逃げると反射的に追いかけてくるといわれている(逃げるものを追いかける)



こんな特徴も

クマは小さな音でも聞き分ける能力(聴覚)、イヌのようにわずかなニオイをかぎわける能力(嗅覚)を備え、優れた運動能力を持っています。時速40km以上で走ることができるほか、泳ぐのも得意です。



クマのことを知る・共有する

クマと共生するため、岩手県では**ツキノワグマ管理検討協議会**を設置しています。

ツキノワグマの保護・管理を的確に実施するため、学識経験者や関係団体等で構成するツキノワグマ管理検討協議会を毎年開催しています。協議会では、管理計画の評価・見直し、捕獲上限数の設定、生息数モニタリングの評価・分析等を行っています。

ツキノワグマ
管理検討
協議会



クマを目撃したら
お住まいの市町村へ
通報をお願いします

クマやその対策に関する**正しい情報**を**周りの人と共有**しましょう!



お問合せ 環境生活部自然保護課(TEL.019-629-5371)

協力 岩手大学ツキノワグマ研究会